

会 議 録

会議の名称		令和6年度第3回竹園学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年2月19日（水）開会 10:00 閉会 11:45		
開催場所		つくば市立竹園西小学校 CAI室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古久保 みどり 今井 健之 太田 敬 松本 祐輔 倉田 廣之 中嶋 信美 後藤 秀一 鈴木 敏一 長谷川 聖修 浜田 博文 北島 良巳 窪庭 隆 鷺田 美加 田中 康海 稲垣 和希 谷池 真彦 竹園東中学校 校長：茂在 哲司、教頭：大和田 哲也 教務主任：鈴木 優庸 副教務：小神野 真人 竹園東小学校 校長：皆川 正美 教頭：岡宮 敏、赤羽 岳彦 竹園西小学校 校長：田中 真樹子 副校長：大山 英樹 教頭：永井 明子		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課課長補佐：山口 健次 生涯学習推進課係長：飯島 遊		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「今年度の振り返りと今後の課題、方向性について」 ～竹園学園コミュニティ・スクールの今後の在り方 について考える～		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会 2 会長・学園長挨拶 3 前回の議事の確認 4 協議 (1) 学校評価アンケート結果（学園共通項目）について (2) 熟議「今年度の振り返りと今後の課題、方向性について」 ～竹園学園コミュニティ・スクールの今後の在り方について考える～ 5 その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 6 閉会			

<審議内容>

1 開会

鈴木（敏）座長：令和6年度第3回竹園学園コミュニティ・スクール推進会議を開会します。会議を進行するにあたり、書記を竹園東中学校の鈴木（優）委員にお願いします。 → 承認

2 会長・学園長挨拶

鈴木（敏）会長：J A E T全国プレ大会について

茂在委員：J A E T全国大会について、次年度のCSについて

【CSの権限についての質問】

中嶋委員：教育局からのCSアンケートに教員任用の項目があるが、そこまで関わっていいものなのか

浜田委員：どこまで権限を与えるのか

CSは教育活動への支援が目的なのではないのか

飯島係長：つくば市の協議会には、教職員任用について意見を述べる権限が付与されている。アンケートは、各学園の優劣をつける目的でおこなっているものではない。

倉田委員：各学校の取組をブラッシュアップしていくことが目的

学校としてどのようなオリジナルを出すことができるのか

独自の取組をしていくためにどのように関わっていくのかが大切

つくば市では、教員の任用、人事評価までは実現できていない

3 前回の議事の確認

4 協議

(1) 学校評価アンケートについて

大山委員がアンケート結果についてPPで説明

(2) 熟議「今年度の振り返りと今後の課題、方向性について」

～竹園学園コミュニティ・スクールの今後の在り方について考える～

Aグループ

- ・自分たちでできていることを、地域に依頼する体制の確立が必要
- ・地域と学校が共同でイベントを開催し、そこに生徒が参加する
- ・協働活動をする事ができていない
- ・CSの周知方法や協力体制が整っていない

Bグループ

- ・生徒の参加意欲が低い
- ・CSで話し合ったことを実現できていない
- ・連絡手段が分からない。誰に連絡を取って進めていくのかが不明確。
- ・西小でサポーターズクラブの立ち上げ（学園で実施）

- ・CSで部会を作り、話し合ったことを実践していくことが必要

Cグループ

- ・CSの体制づくりをしていくことが大切
- ・それぞれが点で動いていることを結び付けて、線にしていくことが必要

Dグループ

- ・子供会が無くなっているのに、地域の交流が減少している
- ・CSは学校、教職員の負担を減らす目的で行っているのに、逆に増加している
- ・地域との関係が希薄であるので、もっと交流する機会を増やしていきたい

Eグループ

- ・CSのゴールが見えていない
- ・生徒の地域愛を育てていく（学校：つくばスタイル科、企業との繋がり）
- ・情報を発信していく
- ・CSの中でやることを決めて、部会を設定して取り組んでいく

5 その他

山口参事：家庭教育学級モデル校事業について

中嶋委員：人数はどれぐらい、もっと具体的に示してほしい

→ CS委員と地域学校協働活動推進員合わせて4名程度を想定

倉田委員：目的は → より多くの保護者への家庭教育支援、地域との連携が目的

稲垣委員：年度が変わり、メンバーも変わるのに、今承認をして大丈夫なのか

→ 令和7年度の3月より実施なので、今年度の委員で承認してよい

谷池委員：アンケートは、新年度の新入生保護者にもとったほうがよいのではないか → スクリレ等でアナウンス 各学校のスクリレ受信設定状況を確認しながら進める

稲垣委員：モデル事業の予算は（責任をもってもらうため）

→ CS会議の中で実施するので特につけない

6 閉会

令和6年度第3回竹園学園コミュニティ・スクール協議会

日時： 令和7年2月19日（水）10時から

場所： 竹園西小学校 C A I 室（校舎1階）

次 第

1 開 会

2 会長・学園長挨拶

3 前回の議事の確認

4 協 議

(1) 学校評価アンケート結果（学園共通項目）について

(2) 熟議 テーマ

「今年度の振り返りと今後の課題、方向性について」

～竹園学園コミュニティ・スクールの今後の在り方について考える～

5 その他

コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

6 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回竹園学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和6年10月17日(木) 開会 10:00 閉会 11:30		
開催場所		つくば市立竹園東小学校 プレイルーム		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	古久保 みどり 今井 健之 太田 敬 松本 祐輔 倉田 廣之 中嶋 信美 鈴木 敏一 浜田 博文 北島 良巳 窪庭 隆 岩村 一代 辻 武晴 谷池 真彦 竹園東中学校 校長：茂在 哲司、教頭：大和田 哲也 教務主任：鈴木 優庸 竹園東小学校 校長：皆川 正美、教頭：岡宮 敏 教頭：赤羽 岳彦 教務主任：小松 有実 竹園西小学校 校長：田中 真樹子 副校長：大山 英樹 教頭：永井 明子 教務主任：吉村 哲一		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課参事：山口 健次 生涯学習推進課課長補佐：瓜阪 恵理名 生涯学習推進課係長：飯島 遊 社会教育主事：村上 和宏 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		「これからの地域活動における資源の活用について」 ～地域学校協働活動推進員を中心とした連携・協働を通して～		
会議録署名人		確定年月日	令和 年 月 日	
会議次第	1 開会 2 会長・学園長挨拶 3 前回の議事の確認 4 協議：熟議 (1)竹園東小学校 若竹委員会からの発表 (2)第1回つくば市地域学校協働活動推進員研修会の報告			

	<p>(3) 熟議 テーマ「これからの地域活動における資源の活用について」 ～地域学校協働活動推進員を中心として連携・協働を通して～</p> <p>(4) その他 コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について</p> <p>5 閉会</p>
	<p><審議内容></p> <p>1 開会</p> <p>鈴木会長：ただ今から、令和6年度 第2回 竹園学園コミュニティ・スクール協議会を開会します。はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。竹園東小学校小松有実先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。→承認</p> <p>2 挨拶</p> <p>鈴木会長：竹園学園のための協議をよろしく願いいたします。 茂在学園長：いろいろな意見をいただければ幸いです。</p> <p>3 前回の議事の確認</p> <p>鈴木会長：第1回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。別紙1（前回の会議録）を見てください。前回の要点をまとめますと①委員の自己紹介から会長、副会長選出②学校グランドデザイン説明と教育活動紹介③熟議「地域とともにある学校とは」～学校のハードル（バリア）を下げる方法～などについて話し合いを深めました。なお、詳しい内容に関しては、市の教育委員会ホームページに掲載されますので御確認ください。</p> <p>4 協議</p> <p>(1)</p> <p>鈴木会長：協議の前に竹園東小学校の教育活動を紹介します。竹園東小学校、若竹委員の皆さんよろしく願いします。 ○竹園東小学校児童の発表（10:10～10:25）※ルールメイキングについて</p> <p>(2)</p> <p>鈴木会長：次に、去る8月10日に行われた第1回つくば市地域学校協働活動推進員研修会の報告があります。地域学校協働活動推進員の皆様よろしく願いいたします。 鈴木会長：地域学校協働活動推進員の報告（10:25～10:40）竹園東小学校 中嶋信美様よろしく願いします。 中嶋委員：学園ごとに集まって、教頭先生から学校の課題を発表し、委員を交えて課題の解決方法を検討しました。 鈴木会長：ありがとうございました。今回の報告を受け、熟議に入りたいと思</p>

います。

(3) 熟議

「これからの地域活動における資源の活用について」

～地域学校協働活動推進員を中心とした連携・協働を通して～

鈴木会長：これより熟議に入ります。熟議を進行するにあたり、ファシリテーターを竹園東小学校岡宮先生にお願いしたいと思います。皆さん、よろしいでしょうか。では、岡宮教頭先生よろしくお願いたします。

岡宮教頭：熟議テーマについて説明、熟議の進行の説明

- ・各グループでの話合いの時間は、11:15 までです。
- ・グループ協議後、グループごとに内容を発表してください。

まとめ

Aグループ：竹園高校では、生成AIを活用した授業に取り組んでいます。探究・教育改革推進部を中心に研究を行っています。授業の参観や交流など、学校間の連携が必要である。地域との交流では、地域のネットワークを広げて情報を共有する。110番の家では、見直しが必要である。地区と学校が互いに働きかける必要がある。

Bグループ：2つの視点で話し合いました。教育活動では、各学年でどのような人材が必要かを把握し、地域に広げる。広げすぎはよくない。実施計画を地域の方にも見てもらい、地域の方から意見をもらうと色々な気付きがあると思います。また、子ども達の発表をもっと見てもう機会を増やす。通学路では、PTAと連携し、地域人材のリストも活用する。推進員が集めた情報をどう発信していくかが課題である。

Cグループ：見守ることで、学校でできることは、学区の危険個所の発信を行う。HPでも知らせ、学園だよりの回覧を行う。登校だけでなく下校時も見守りを行う。見守るときは、目印のジャケットやステッカーが必要である。体験型では、農業体験が難しい。学区の特色を生かし、無理にやらなくてもいいのでは。それぞれの学校の特色を生かすことが大切。110番の家では、大人だけではなく、子どももしっかりと把握させることも重要である。部活動では、高校の取り組みも参考にする。竹園地区は、他の地区とは違って恵まれている。

岡宮教頭：グループごとの発表、ありがとうございます。

鈴木会長：岡宮教頭先生、ありがとうございました。

5 その他

鈴木会長：最後に御出席のみなさんから何かありますでしょうか？

次回の開催予定日等について、岡宮先生、よろしくお願いたします。

岡宮教頭：本年度3回目のコミュニティ・スクール協議会について御連絡します。次回ですが、第3回は竹園西小学校で令和7年2月19日（水）9時30分からの予定です。詳細は、追って御連絡いたします。

鈴木会長：本日の「協議」の内容は、以上になります。また、本日の会議の様子

を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思
います。委員の皆様、よろしいでしょうか。よろしく願いいたします。

6 閉会

以上をもちまして、令和6年度 第2回竹園学園コミュニティ・スクール協議
会を閉会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。
今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

コミュニティ・スクール協議会(推進会議)に関するアンケート(学園名:) どちらかに○(地域住民・教職員)

項目	あてはまる部分にチェック(○)を入れてください	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない	判断できない
1	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員(推進会議の構成員)による議論を行う					
2	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある					
3	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある					
4	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある					
5	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある					
6	協議会(推進会議)内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある					
7	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている					
8	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある					
9	協議会(推進会議)で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある					
10	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある					
11	協議会(推進会議)で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある					
12	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている					
13	議論の結果、各主体(学校・保護者・地域の大人等)が実行すべきこと・役割分担が明確になっている					
14	学校の問題や悩みは、協議会委員(推進会議の構成員)の中で共有されている					
15	協議会(推進会議)での協議内容について、十分な情報発信が行われている					
16	当事者意識をもち、学校運営に参画したと感ずることができる					
17	協議会(推進会議)への参加回数をご記入ください					回
18	その他 ご意見があればご自由に記入してください(裏面もご使用ください)					